

泉南市埋蔵文化財センター 年報

平成24年度

はじめに

当施設は、ふたつの機能を兼ね備えております。1階は埋蔵文化財センターとして、市内埋蔵文化財の発掘調査やそれに伴う出土品の整理・保管・研究を行ないます。2階は博物館的な施設として、隣接する国史跡海会寺跡出土の国指定重要文化財の展示をはじめ、発掘調査などによって得られた市内文化財の情報をひろく市民に還元する施設です。これまで、施設内での歴史講座や体験学習などのほか、学校教育機関への出張講座も行ってまいりました。

本書は、当施設の事業のうち、平成24年度に実施した普及啓発事業をまとめたものです。これまでのご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今後も市民の皆様のご要望にお応えできるよう、より充実した事業展開に努めてゆく所存であります。

泉南市教育委員会

1. 施設の概要	-----	1
2. 組織・職員	-----	2
3. 利用者数と利用形態	-----	2
4. 展示	-----	4
5. 講座	-----	4
6. 体験学習	-----	4
7. フィールドワーク	-----	4
8. 文化財普及啓発ボランティア	-----	4
9. 市内資源発見活用事業	-----	6
10. 附編		
埋蔵文化財センター条例・同施行規則	—	7
史跡海会寺跡広場条例・同施行規則	—	7・8

1. 施設の概要

略沿革

- 平成 6 年 7 月～平成 7 年 3 月 基本設計及び実施設計。
- 平成 7 年 3 月 浄化槽設置工事完成。
- 平成 7 年 6 月 海会寺跡出土遺物 302 点が国の重要文化財に指定される。
史跡海会寺跡整備事業完了。「史跡海会寺跡広場」として一般開放開始。
- 平成 8 年 3 月 埋蔵文化財センター竣工。
1 階埋蔵文化財センター部門供用開始。
- 平成 9 年 4 月 埋蔵文化財センター条例、同施行規則施行。
展示施設一般開放開始。
- 平成 10 年 7 月 重要文化財海会寺跡出土遺物を常設展示とする特別展示室オープン。

施設

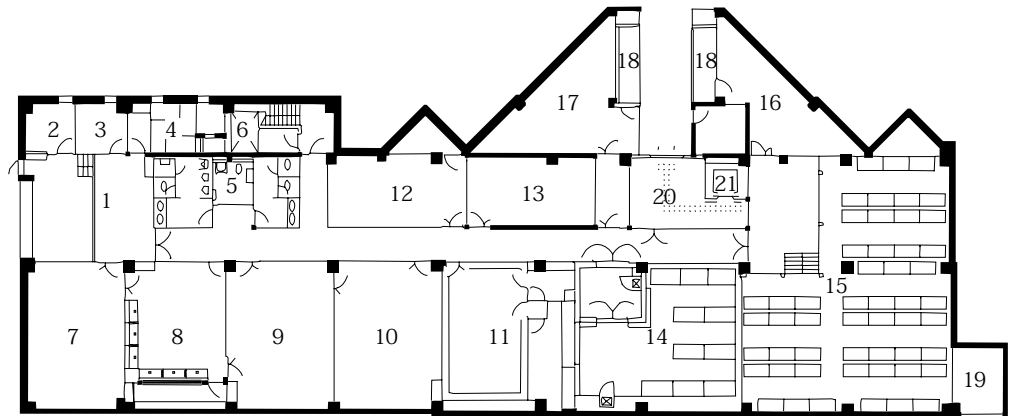
鉄筋コンクリート造地上 2 階耐火構造

敷地面積	4602.24 m ²
建築面積	1164.82 m ²
延床面積	1893.86 m ²
1 階	990.89 m ²
2 階	902.97 m ²
総室数	1 階 27 部屋 2 階 16 部屋

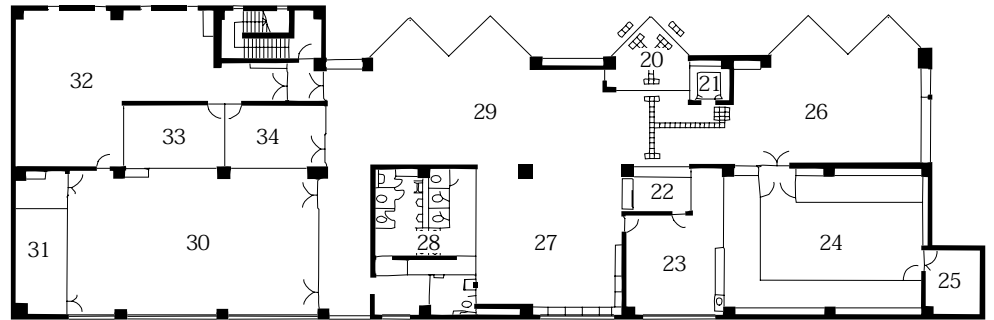
泉南市埋蔵文化財センター事業費 (平成 7 年度完成分まで)

設計委託	11,433,000 円
設計事管理委託	8,446,000 円
浄化槽設置工事	43,260,000 円
建築工事	762,200,000 円
植栽工事	6,180,000 円
上水道施設負担金等	958,000 円
用地購入	532,018,944 円

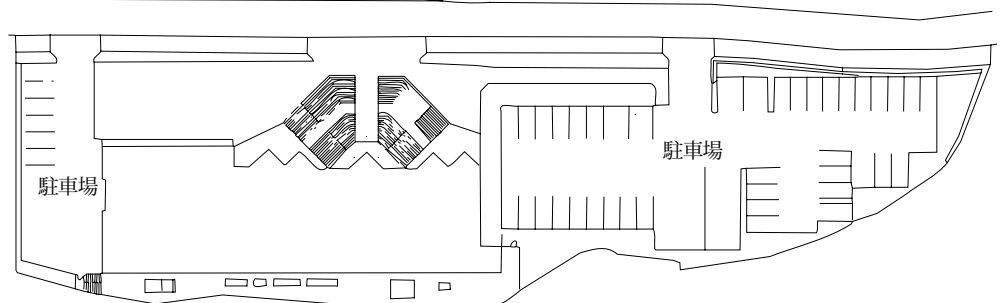
- 1 荷解場
- 2 警備員室
- 3 女子更衣室
- 4 休憩室
- 5 トイレ
- 6 ポンプ室
- 7 仮収蔵庫
- 8 洗浄室
- 9 遺物整理室
- 10 記録整理室
- 11 写場・暗室・乾燥室
- 12 図面収蔵庫
- 13 写真収蔵庫
- 14 特別収蔵庫
- 15 収蔵庫 1
- 16 収蔵庫 2
- 17 収蔵庫 3
- 18 展示ケース
- 19 CO₂ボンベ室
- 20 風除室
- 21 エレベーター
- 22 受付
- 23 事務室
- 24 特別展示室
- 25 展示準備室
- 26 展示ホール
- 27 図書情報コーナー
- 28 トイレ
- 29 サロン
- 30 講堂兼視聴覚室
- 31 倉庫
- 32 調査研究室
- 33 図書保管室
- 34 会議室



1階 平面図



2階 平面図



施設全体図

2. 組織・職員

教育長 蔵野博司

教育部 部長 上ノ山正人

次長 北島治男

生涯学習課 課長 梶本秀之

文化財保護係 係長 岡 一彦（本庁勤務）

主査 城野博文（埋蔵文化財センター勤務）

主査 河田泰之（埋蔵文化財センター勤務）

3. 利用者数と利用形態

月別入館者数

	開館 日数	大人		子ども		計
		男	女	男	女	
4月	22	149	104	55	55	363
5月	24	163	118	31	98	410
6月	24	313	309	33	24	679
7月	23	122	94	67	66	349
8月	25	109	112	97	72	390
9月	21	86	57	12	18	173
10月	25	194	93	73	98	458
11月	24	249	149	127	129	654
12月	21	115	62	22	22	221
1月	21	93	107	23	30	253
2月	23	181	122	48	40	391
3月	23	318	239	49	48	654
計	276	2092	1566	655	700	5013

施設外への出張事業-1

月日	団体名（依頼内容）	人数
5月10日	泉南市立一丘小学校 （6年生の社会科：施設見学とまが玉と組みひものブレスレット）	82
5月21日	泉南市立樽井小学校（6年生の社会科：土器づくり）	139
5月23日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：組みひも）	4
5月24日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：組みひも）	25
5月25日	泉南市立一丘小学校 （6年生の社会科：土器づくり）	82
5月28日	阪南市立上庄小学校 （6年生の社会科：まが玉）	65
5月30日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：組みひも）	15
6月7日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：組みひも）	55
6月8日	泉南市立一丘小学校 （6年生の社会科：火おこし、土器焼き）	82
6月18日	泉南市立樽井小学校 （6年生の社会科：火おこし、土器焼き）	139
6月20日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験：組みひも）	4

施設外への出張事業-2

月日	団体名（依頼内容）	人数
6月21日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：組みひも）	10
6月27日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：組みひも）	25
7月5日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：まが玉）	16
7月7日	きしわだ自然資料館 （ワークショップ実施：組みひも）	12
7月8日	きしわだ自然資料館 （ワークショップ実施：組みひも）	8
7月14日	泉南市立鳴滝小学校 （土曜元気広場での文化財体験学習の実施：施設紹介とまが玉ネックレス）	100
7月18日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験：まが玉ネックレス）	17
7月25日	泉南市教育委員会指導課 （樽井公民館でのものづくり体験：組みひも）	25
7月25日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：まが玉ネックレス）	16
7月26日	泉南市教育委員会指導課 （新家公民館でのものづくり体験：組みひも）	19
8月1日	泉南市教育委員会指導課 （西信達公民館でのものづくり体験：組みひも）	13
8月3日	泉南市教育委員会指導課 （信達公民館でのものづくり体験：組みひも）	19
8月9日	泉南市教育委員会指導課 （新家公民館でのものづくり体験：まが玉ネックレス）	17
8月10日	泉南市教育委員会指導課 （西信達公民館でのものづくり体験：まが玉ネックレス）	13
8月17日	泉南市教育委員会指導課 （樽井公民館でのものづくり体験：まが玉ネックレス）	20
8月22日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：絵本の読み聞かせ）	4
8月24日	泉南市教育委員会指導課 （信達公民館でのものづくり体験：まが玉ネックレス）	32
8月29日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験：まが玉ネックレス）	38
9月19日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験：小枝のストラップ）	4
9月20日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：割箸鉄砲）	9
10月18日	泉南市立鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：割箸鉄砲）	10
10月21日	西信達地区地域教育協議会 （西信達フェスタでの体験コーナー設置：組みひも）	60
10月24日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験：割箸鉄砲）	11
10月31日	泉南市立青少年センター （子ども元気広場新家でのものづくり体験：割箸鉄砲）	11
11月8日	鳴滝小学校 （放課後元気広場でのものづくり体験：火おこし）	15

施設外への出張事業 -3

月日	団体名(依頼内容)	人数
11月10日	一丘中学校区地域教育協議会 (リサイクルふれあいデーでの体験コーナー設置:組みひも)	40
11月12日	泉南市立保健センター (保健予防事業における講座開催)	15
11月16日	泉南市立東小学校 (全校生徒への火おこし、土器焼き、焼き芋体験などの実施)	64
11月18日	きしわだ自然資料館 (ワークショップ実施:勾玉ネックレス)	9
11月20日	泉南市立新家東小学校 (6年生へのまが玉づくりのワークショップ実施)	41
11月28日	泉南市立青少年センター (子ども元気広場新家でのものづくり体験:絵本の読み聞かせ)	15
11月30日	泉南市立図書館 (図書館地域講座での講座開催)	40
12月19日	泉南市立青少年センター (子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験:火おこし)	13
12月26日	泉南市立青少年センター (子ども元気広場新家でのものづくり体験:火おこし)	15
1月17日	泉南市立鳴滝小学校 (放課後元気広場でのものづくり体験:縄文風壁飾り)	5
1月23日	泉南市立青少年センター (子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験:縄文風壁飾り)	4
1月30日	泉南市立鳴滝小学校 (3年生への民具をつかったワークショップ実施)	40
1月30日	泉南市立青少年センター (子ども元気広場新家でのものづくり体験:縄文風壁飾り)	7
1月31日	泉南市立鳴滝小学校 (放課後元気広場でのものづくり体験:縄文風壁飾り)	4
2月14日	泉南市立鳴滝小学校 ボランティア参加(放課後元気広場でのものづくり体験:叩きゴマ)	2
2月20日	泉南市立青少年センター ボランティア参加 (子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験:叩きゴマ)	7
2月22日	泉南市立西信達小学校 (3年生、支援学級への民具をつかったワークショップ実施)	98
2月27日	泉南市立青少年センター ボランティア参加 (子ども元気広場新家でのものづくり体験:叩きゴマ)	9
2月28日	泉南市立鳴滝小学校 ボランティア参加 (放課後元気広場でのものづくり体験:叩きゴマ)	14
3月2日	泉南歴史研究会 (講座開催)	20
3月2日	泉南市立青少年センター (土曜元気広場でのものづくり体験:組みひも)	30
3月6日	泉南市立青少年センター ボランティア参加 (子ども元気広場青少年センターでのものづくり体験:どんぐり鉄砲)	12
3月10日	きしわだ自然資料館 (ワークショップ実施:縄文風壁飾り)	13
3月14日	泉南市立鳴滝小学校 ボランティア参加 (放課後元気広場でのものづくり体験:どんぐり鉄砲)	7

施設外への出張事業 -4

月日	団体名(依頼内容)	人数
3月21日	泉南市立雄信小学校 (3年生への民具をつかったワークショップ実施)	38
3月27日	泉南市立青少年センター ボランティア参加 (子ども元気広場新家でのものづくり体験:どんぐり鉄砲)	6

視察

月日	機関名	人数	備考
12月18日	都城市教育委員会	1	史跡整備および普及啓発事業など

資料貸出

貸出先	貸出資料	使用目的	点数
一丘小学校	銅鐸・銅鏡の青銅製レプリカ	6年生の社会科授業で教材として使用するため	2
韓国国立扶余文化財研究所	海会寺跡写真	韓国国立扶余博物館発行『東アジアの古代寺址比較研究Ⅲ』に掲載するため	18
昭和女子大学客員研究員	泉南市内出土の瓦溜写真(申請者撮影)	(独)農畜産物振興機関発行『でん粉・砂糖類情報』2月号に掲載するため	6
和泉市教育委員会	海会寺跡写真	『和泉市史』に掲載するため	2

おもな団体見学

月日	団体名(内容)	人数
5月9日	泉南市教育委員会指導課 (市内学校園長の研修:施設見学)	30
6月1日	泉南市役所人事課 (人事院公務員研修:施設見学)	3
7月27日	泉南市教育委員会指導課 (市内小中学校初任者教員への教材提供など)	35
8月14日	泉南市役所保育子育て支援課 (一丘広場での親子ものづくり:紙飛行機)	15
8月28日	泉南市役所保育子育て支援課 (一丘広場での親子ものづくり:紙飛行機)	50
8月29日	泉南市立鳴滝小学校 (見学・バックヤードツアー・ものづくり体験)	21
10月4日	泉南市立鳴滝小学校 (1年生の遠足:紙芝居ほか)	32
10月19日	泉南市立一丘小学校・あおぞら幼稚園 (1年生、年長組の遠足:施設見学と紙芝居ほか)	117
11月2日	泉南市立新家小学校 (1・2年生の秋の遠足:見学と紙芝居)	135
1月22日	泉南市保育子育て支援課 (一丘広場での親子ものづくり:凧)	13
2月12日	泉南市保育子育て支援課 (一丘広場での親子ものづくり:組みひも)	29
2月26日	泉南市保育子育て支援課 (一丘広場での親子ものづくり:組みひも)	24

その他依頼

月日	団体名	内容	人数
6月7・8日	泉南市立西信達中学校	職業体験学習(2年生)	1
6月14・15日	泉南市立信達中学校	職業体験学習(2年生)	5
10月25日	泉南市立新家東小学校	職業体験学習(6年生)	5

4. 展示

常設展示

「海会寺跡」

内容 隣接する国史跡海会寺跡からの出土品のうち、国重要文化財指定物件を中心に展示。海会寺跡の歴史的価値をわかりやすく紹介。

企画展示

「思い出のせんなん写真展」

期間 4月16日～6月29日

内容 泉南市内で撮影された写真を持ち主の思い出を添えて紹介するほか、当時の暮らしの道具なども展示。あわせて市民などから写真を募集した結果、10件の応募があった。

「むかしあそび展」

期間 7月19日～8/31

内容 むかしのおもちゃを館内に設置。利用者が自由に遊べるようにした。併せて指導役としてボランティアを募った。

「絵本の中のむかし展」

期間 9月24日～12月26日

内容 絵本を読む時代に施設利用を促し、地域文化を身近に接する機会を提供することが目的。絵本を媒介にした民具鑑賞プログラムも実施した。

「魅力ある泉南の景観パネル展 - 熊野街道沿い」

期間 平成25年3月11日～4月27日

内容 市内所在の魅力ある景観の存在と、保護の必要性を周知することが目的。応募のあった魅力ある景観の情報を共有することで住民主体の自律的な景観保全の仕組み作りにつながると見込まれる。

5. 講座

「回想法講座」2/3 (水) 参加者66名

内容 高齢障害介護課との共催事業。認知症を正しく理解するための講座を実施するほか、回想法の具体的な技法を学ぶことで、高齢者にとってよき話の聴き手を養成することが目的。講座では、市内に関連する文化財・文化遺産を活用した。これにより市民による文化財の活用と自律的な保護の仕組み作りを促す効果が見込まれる。

「認知症の早期発見・早期治療について」

講師：松本英一さん（泉佐野泉南医師会介護保険担当理事・泉南市認知症かかりつけ医）

「懐かしい話に花を咲かせましょう！」

講師：清本好美さん（社会福祉法人長寿会職員）
櫻井昭子さん（地域包括支援センター六尾の郷職員）



回想法講座のようす

「子どもまいぶん講座」

内容 市内に学術的に重要な白亜紀末の化石産地が存在することから、その化石産地の成因および古生物学の基礎を学ぶ機会を提供することが目的。保護者参加を積極的に呼びかけることにより、家庭内での自発的な学習と文化財保護意識の醸成が見込まれる。

2/16 (土) 「山で海の生き物の化石が見つかる理由

—地質学から見た和泉山脈の歴史」参加者30名

講師 濱塚 博さん（きしわだ自然資料館アドバイザー）

2/23 (土) 「なっとく！恐竜教室

—はじめての古生物学」参加者41名

講師 徳川広和さん（恐竜・古生物復元造形作家）
大野理恵さん（大阪市立大学大学院）

「泉南”楽”会」3/17 (日) 参加者32名

内容 泉南の建造物の魅力について、市民にその魅力を再発見する機会と、自発的な学習のきっかけ作りが目的。住民主体の自律的な文化財保護の仕組み作りにもつながると見込まれる。

「第10回泉南”楽”会—泉南の魅力ある建物見て歩き—」

講師 植松清志さん（大阪人間科学大学人間科学部教授）

「まいぶん講座」

内容 市内文化財に関連する内容の職員による講座。地域の歴史文化への興味関心を持つきっかけを提供することが目的。

3/13 (水) 「全国屈指のレンガづくりのまち

—せんなん」参加者22名

3/21 (水) 「文化財を守った人々

—海会寺跡の例をまじえて」参加者18名

3/27 (水) 「歴史における石」参加者17名

6. 体験学習

「まいぶんクラブ」

内容 身近な昔の暮らし体験を通じて、歴史文化への興味関心を持つきっかけを提供することが目的。ボランティア5名に協力を得た。

①小枝のストラップづくり 5/19 (土) 参加者5人

古代の組みひもづくりに小枝の飾りをつけてアクセサリーにした。

②まが玉づくり 5/26 (土) 参加者15人

古墳時代のまが玉づくりを体験。古代の組みひもづくりを併せて実施し、プレスレットをつくった。

③布ぞうりづくり 6/16 (土) 参加者5人

自宅にあるぼろ布を再利用したむかし体験。古布のリサイクルも兼ねる。

④織ものづくり 6/23 (土) 参加者4人

弥生時代の織ものを体験。原始機でコースターをつくった。

⑤小枝のコースターづくり 7/28 (火) 参加者2人

縄文時代の編物の方法で、藁を編みこんだコースターをつくった。

⑥割りばしゴム鉄砲づくり 7/31 (火) 参加者21人

むかしあそびの体験。割りばしを使ったゴム鉄砲づくりと参加者によるまと当て大会。

⑦やじろべえづくり 8/7 (火) 参加者4人

ボランティア2名協力。むかし遊び体験。どんぐりや松ぼっくりなどの木の実と竹ひごなどを使ってやじろべえをつくった。

⑧叩きゴマづくり 8/21 (金) 参加者 4人

ボランティア 1名協力。昭和初期に市内ではやっていた子どもの遊び体験。自分のコマ作りののち、サロンでコマあそび。

⑨おおきなまが玉づくり 10/21 (土) 参加者 12人

おおきなまが玉用の石を使ったまが玉づくり。ストローをつかった管玉をつかってネックレスをつくった。

⑩ろうそくづくり 11/17 (土) 参加者 11人

むかしのあかり体験。菜種油を使った燈明皿のあかり体験と、アロマキャンドルづくりを行った。

⑪どんぐり鉄砲 11/24 (土) 参加者 7人

ボランティア 2名協力。昭和初期に市内ではやっていた子どもの遊び体験。真竹を小刀で削ってつくった。

⑫リースづくり参加者 12/15 (土) 参加者 12人

史跡海会寺跡広場にある素材をつかったネイチャークラフト。林に生える蔦をつかってリースをつくった。

⑬カレンダーづくり 12/22 (土) 参加者 13人

史跡海会寺跡広場にある素材をつかったネイチャークラフト。林に生える木のコバエや、小枝を縄文時代の布と同じ原理で編みあげカレンダーをつくった。

⑭ガラス玉づくり 1/22 (日) 参加者 23人*講師依頼

ボランティア 1名協力。灯油バーナーを使った本格的なとんぼづくり。作家によるデモンストレーションも行った。

「ちょっと体験コーナー」

期間 7/17～8/31

内容 体験プログラムを申込み不要で実施。新規利用者の獲得が目的。銅鐸の複製品に触れたり、組みひもづくりなどを実施した。

7. フィールドワーク

内容 市外の史跡や建造物などを現地にて見学する講座。今年度のテーマは、巨石の信仰。「巨石」への信仰について、参加者と現地見学を通して考えることとし、「巨石」以外の文化財も、できるだけ多数訪れることによって、その地域の歴史に触れることとした。ボランティア 2名の協力を得た。

第1回説明会 4/6 (水)

第2回「御厨子神社」4/25 (水) 現地見学 11km

参加者 39名 (ボランティア 1名協力)
近鉄大福駅～蓮台寺～吉備池廃寺～稚櫻神社～磐余池推定地～御厨子神社～香具山万葉の森公園 (昼食)～大官大寺跡～奥山久米寺跡～山田寺跡～飛鳥資料館～石神遺跡～水落遺跡～甘樫坐神社～近鉄橿原神宮前駅

第3回「神野山」5/23 (水) 現地見学 9km

参加者 31名 (ボランティア 1名協力)
J R奈良駅<バス移動>フォレストパーク神野山駐車場～神野寺～王塚～神野山山頂 (昼食)～八畳岩～天狗岩～鍋倉溪～竜王岩～上津大片刈遺跡 (休憩)～山添村ふるさとセンター・長寿岩-<バス移動> J R奈良駅

第4回「天乃石立神社・笠置寺」6/6 (水) 現地見学 8km

参加者 37名 (ボランティア 1名協力)
J R奈良駅-<バス移動>-柳生バス停～旧柳生藩家老屋敷～柳生花しょうぶ園～旧柳生藩陣屋跡 (昼食)～芳徳寺～天乃石立神社～十兵衛杉～阿対の石仏～六角堂跡～笠置寺～J R笠置駅



歴史倶楽部 現地見学のように

第5回講座「巨石の信仰」8/22 (水)

参加者 32名 (ボランティア 1名協力)

第6回「生石神社」9/5 (水) 現地見学 6km

参加者 34名 (ボランティア 2名協力)

J R土山駅～兵庫県立考古博物館～大中遺跡公園 (昼食)～J R土山駅<電車移動> J R宝殿駅～生石神社～J R宝殿駅

第7回「貴志川八幡宮」9/19 (水) 現地見学 11km

参加者 30名 (ボランティア 2名協力)

甘露寺駅～貴志川八幡宮～中宮祭祀遺跡推定地～タテリ岩 (古宮祭祀遺跡)～平池緑地公園 (昼食)～貴志川生涯学習センター～丸山古墳～平池古墳群～罐子塚古墳～三味塚古墳～貴志駅

第8回「磐船神社」10/3 (水) 現地見学 4km

参加者 32名

近鉄富田林駅<バス移動>平石バス停～高貴寺～磐船神社 (昼食)～平岩城跡～近つ飛鳥風土記の丘～大阪府立近つ飛鳥博物館～阪南ネオポリスバス停<バス移動>喜志駅前バス停

第9回「夫婦岩」11/7 (水) 現地見学 13km

参加者 31名 (ボランティア 1名協力)

近鉄高安山駅～高安城跡倉庫群～十三峠・十三塚～鐘の鳴る丘展望台 (昼食)～夫婦岩～鳴川峠～千光寺～清滝石仏群～近鉄元山山口駅

第10回「磐船神社」12/5 (水) 現地見学 10km

参加者 31名 (ボランティア 2名協力)

京阪私市駅～尺治川砂防堰堤・天野川石堰堤工～府民の森ほしだ園地～磐船神社～府民の森ほしだ園地 (昼食)～星のブランコ～星田妙見宮 (小松神社)～伝・家康ひそみの森～星田寺・星田神社～徳川家康宿陣地・神祖宮跡之碑～新宮山八幡宮跡 (星田公園)～J R星田駅

第11回まとめ 12/19 (水)

8. 文化財普及啓発ボランティア

活動への参加を通じて文化財保護の必要性を認識してもらうことが目的。ボランティア活動の場と参加体験型学習への参画機会を提供することで、施設の新規利用者の獲得も見込まれる。

ご協力いただいた事業とその内容

対象事業	内容	協力者数
フィールドワーク	現地見学時の引率	2人
歴史倶楽部	説明補助	
まいぶんクラブほか	プログラムの企画・実施	5人
参加体験型学習		

9. 市内資源発見活用（せんなんのたからもの）事業

泉南市に関連する文化遺産（広義の文化財＝せんなんのたからもの）の価値を最大化させることが目的である。住民と行政が、文化遺産の活用を通して文化財保護の必要性を共有することを目標とする。住民に地域への誇りを持つきっかけを提供することで、市域の活性化が見込まれる。現在3つの段階にわけて事業をすすめ、各段階ごとに目標を設定している。

段階1 文化財の認識をひろめる

「せんなんのたからもの」を公募する。「せんなんのたからもの」とは、時代や価値などの基準は設けず、①泉南市に関するもので、②所有する人が大切だと思ひ、③活用したいとつよく思うものとする。登録物件は持ち主の所有とする。

- 目標
- ・住民に「せんなんのたからもの（広義の文化財）とは何か？」を考えるきっかけを提供する。
 - ・「せんなんのたからもの」を公開する方法や活用方法について、所有者や利用者の要望を把握する。

段階2 情報を共有する

応募のあった「せんなんのたからもの」を随時閲覧可能な状態で公開することで、ひろく活用をうながす。公開する手段は、前段階で把握した所有者や利用者の要望を反映する。

- 目標
- ・利用者による主体的な活用をうながし、地域の宝としての認知をひろめる。
 - ・利用者の意見をもとに、具体的な活用形態を把握する。

段階3 利用者が活用しやすい環境をつくる

前段階で把握した具体的な活用形態を実現するために、エコミュージアム化など「せんなんのたからもの」を利用者が主体となり活用できる環境づくりをおこなう。

- 目標
- ・活用をきっかけとした人間関係の構築をうながし、維持発展させる。
 - ・泉南市らしい仕組み作りを行う。

【登録物件の活用について】

教育・生涯学習・地域活動の素材として、グループや個人が利用することをいい、活用方法は持ち主の承諾さえ得られれば特に制限はない。

行政による登録物件の公開

形態	名称など	内容	公開の方法など	その他公開方法	件数
印刷物	広報せんなん	毎月掲載。登録物件を個別に紹介。	全戸配布	泉南市ウェブサイトで見 覧・ダウンロード	12
展示	思い出のせんなん写真展	登録物件のうちの古い写真145件を、持ち主の思い出を添えて展示。	会期：4/16～6/29 会場：埋蔵文化財センター	-	145
展示	むかしあそび展	1件を利用者が遊べるように展示（叩きゴマ）	会期：7/17-8/31 会場：埋蔵文化財センター	-	1
参加体験型学習	まいぶんクラブ	持ち主に講師役を依頼（叩きゴマ）	日時：8/21 定員：10名 会場：埋蔵文化財センター	-	1
参加体験型学習	まいぶんクラブ	持ち主に講師役を依頼（どんぐり鉄砲）	日時：11/24 定員：10名 会場：埋蔵文化財センター	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（叩きゴマ）	日時：2/14 会場：鳴滝小学校 2名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（叩きゴマ）	日時：2/20 会場：青少年センター 7名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（叩きゴマ）	日時：2/27 会場：旧新家幼稚園 9名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（叩きゴマ）	日時：2/28 会場：鳴滝小学校 14名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（どんぐり鉄砲）	日時：3/6 会場：鳴滝小学校 12名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（どんぐり鉄砲）	日時：3/14 会場：青少年センター 7名参加	-	1
参加体験型学習	子ども元気広場	持ち主に講師役を依頼（どんぐり鉄砲）	日時：3/27 会場：旧新家幼稚園 6名参加	-	1
12回で166件の登録物件を公開した					166

利用者による主体的な登録物件の活用

月日	活用の主体	機関名	活用方法	活用件数
4月1日	市内在住・個人	個人	実家が写っている古写真をプリントし私蔵	1
4月6日	事業者・高齢介護	包括支援センターなでしこりんくう	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	5
6月11日	市内在住・個人	個人	自身が写る古写真をプリントし私蔵	3
6月12日	市内在住・個人	個人	写真パネルを小学校での総合学習の授業に活用	1
6月22日	事業者・高齢介護	包括支援センターなでしこりんくう	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	6
8月10日	事業者・高齢介護	包括支援センターなでしこりんくう	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	6
9月24日	事業者・高齢介護	包括支援センターなでしこりんくう	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	5
10月6日	報道・テレビ	読賣テレビ	写真データを編集し番組の映像資料として利用	5
11月15日	事業者・高齢介護	包括支援センターなでしこりんくう	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	5
11月30日	市内・社会教育	泉南市立図書館	市内で撮影された古い写真からわかる地域の変遷を紹介する講座開催を希望	89
1月12日	市外在住・個人	個人	地域史研究のため写真データを発表資料に掲載する	2
1月30日	学校教育・小学校	泉南市立鳴滝小学校	3年生38名を対象にワークショップを実施。むかしの暮らしを学ぶための教材として使用	10
2月13日	市内・福祉	高齢障害者介護課	市民対象の回想法講座の開催（高齢障害者介護課と共催）	4
2月16日	事業者・高齢介護	泉南市いきいきネット支援センターせんわ	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	63
2月22日	学校教育・小学校	泉南市立西信達小学校	3年生83名、支援学級15名を対象にワークショップを実施。むかしの暮らしを学ぶための教材として使用	13
3月1日	事業者・高齢介護	泉南市いきいきネット支援センターせんわ	パネルを借用し、回想法や高齢者とのコミュニケーションなどに使用	63
3月7日	市内・社会教育	泉南市立図書館	図書館2階の展示コーナーに展示。絵本に出てくるむかしの道具とおもちゃ展	8
3月21日	学校教育・小学校	泉南市立雄信小学校	3年生40名を対象にワークショップを実施。むかしの暮らしを学ぶための教材として使用	10
18件の申し込みがあり299件の登録物件が活用された				299

10. 附編

泉南市埋蔵文化財センター条例

平成9年4月4日
条例第10号

(設置)

第1条発掘調査等で得られた考古学的資料(以下「資料」という。)の保存及び活用を図り、歴史に対する理解を深め、市民文化の向上に資するため泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市信達大苗代 374-4

(業務)

第3条センターは、次の業務を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究及び活用に関すること。
- (3) 資料を展示し、公開すること。
- (4) 資料に関する講演会、講習会及び研究会等に関すること。
- (5) その他泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が設置目的を達成するために必要と認める業務

(入館の制限)

第4条委員会は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を断り、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は設備等を毀損し、又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 資料等を汚損し、若しくは損傷し、又は亡失させるおそれがあるとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(損害の賠償)

第5条何人もセンターの施設若しくは設備を毀損し、又は備品若しくは資料等を亡失し、若しくは損傷したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第6条センターに必要な職員を置く。

(委任)

第7条この条例に定めるもののほか、センターの管理運営に関し必要な事項は、委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成9年4月27日から施行する。

泉南市埋蔵文化財センター条例施行規則

平成9年4月4日
教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条この規則は、泉南市埋蔵文化財センター条例(平成9年泉南市条例第10号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条センターの開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 毎週土曜日及び日曜日
- (3) 12月28日から翌年1月5日までの日

3前2号の規定にかかわらず、泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認めるときは、開館時間及び休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(資料の貸出し)

第3条条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)は、教育的目的又は学術研究に使用する場合に限り、館外に貸出しをすることができる。

2資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出申請書(様式第1号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3委員会は、前項の規定により許可したときは、資料貸出許可書(様式第2号)を交付する。

(行為の禁止)

第4条センターでは、次の行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用する行為
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為
- (3) 所定の場所以外に無断で立ち入る行為
- (4) その他管理上支障をきたす行為

(委任)

第5条この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この規則は、平成9年4月27日から施行する。

附則(平成17年3月2日教委規則第1号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例

平成7年6月27日
条例第11号

(設置)

第1条史跡海会寺跡を保存するとともに市民にこれと親しむ場を提供し、もって市民の文化的向上に資するため、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)を泉南市信達大苗代に設置する。

(施設)

第2条海会寺跡に次に掲げる施設を置く。

- (1) 塔、講堂、回廊、基壇等の復元された歴史的建造物
- (2) 積層面遺構露出保護展示施設
- (3) 広場

(管理)

第3条海会寺跡は、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(入場の制限)

第4条教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、海会寺跡への入場を制限することができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設を損傷し又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(委任)

第5条この条例に定めるもののほか、海会寺跡の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例施行規則

平成7年6月27日
教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条この規則は、史跡海会寺跡広場条例(平成7年泉南市条例第11号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(入場者の遵守事項)

第2条海会寺跡の入場者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 樹木を伐採し、又は植物を採取してはならない。
- (2) 土地の形質を変更してはならない。
- (3) 鳥獣類を捕獲し、又は殺傷してはならない。
- (4) 車両を乗り入れてはならない。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ってはならない。
- (6) はり紙、はり札又は広告を表示してはならない。
- (7) 他人の迷惑となる行為をしてはならない。

(損害賠償)

第3条海会寺跡の利用者が施設又は設備を損壊し、汚損し、又は滅失したときは、これを修理し、若しくは原状回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、利用者の責めに帰することができないときは、この限りではない。

(積層面遺構露出保護展示施設)

第4条例第2条第2号に掲げる積層面遺構露出保護展示施設(以下「展示施設」という。)の利用時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときはこれによらないことができる。

2展示施設の閉休日は次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときはこれによらないことができる。

(1)12月28日から翌年1月5日までの期間

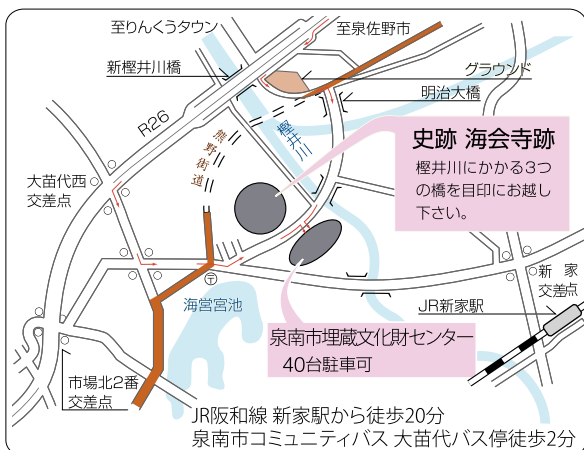
(委任)

第5条この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。附則

この規則は、公布の日から施行する。

資料貸出申請書				
年 月 日				
泉南市教育委員会殿				
申請者 住所(所在地) 氏名(名称) 代表者名(印) Tel				
下記のとおり、埋蔵文化財センターが管理する資料の貸出を受けたいので申請します				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
取扱責任者				

資料貸出許可書				
泉南教委生発第号 年 月 日				
殿				
泉南市教育委員会				
年 月 日付けで申請のありましたセンター資料の貸し出しについては、次のとおり許可します。				
利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
許可条件				



利用案内

所在地：大阪府泉南市信達大苗代 374-4 史跡海会寺跡広場前

電話：072-483-6789

FAX：072-483-7089

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.sennan.osaka.jp/~maibun/maibun-top.htm>

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土・日曜日・祝日（第2・4土曜日は開館）・年末年始

入館料：無料

泉南市埋蔵文化財センター 年報 平成24年度 2013年4月 編集・発行 泉南市教育委員会